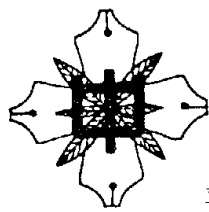


【教育目標】 将来をみつめ「学び考える力」「自他を大切にする心」「たくましく生きる力」を育てよう



十中だより

平成28年 1月21日 発行 第9号 発行者:中野区立第十中学校

今年もよろしくお願ひします

～初詣についての一考察～

新年明けましておめでとうございます。

2016年を迎えて3週間が経過。時期を逸した感は否めないが、今回のテーマは「初詣」。

初詣は新年の清い気持ちで寺社にお参りし、神・仏にお賽銭を捧げ、大願成就を願う日本の伝統文化の一つ。

初詣が習慣化したのはそれほど古い時代ではない。「元日詣」が行われたのは明治中期からという。一般的には、正月の三が日に参拝することを初詣というようだが、1月中の参拝を初詣とする解釈もある。また、年明け最初の参拝を初詣とするお坊さんもいる。まだの方は十分に間に合う。



教員になって間もない、今から30年以上前の話である。

2学期終業式後、寒い体育館で3年生だけを残して学年集会を行った。当時の学年主任M先生は「初詣」について次のようなことを話された。以下、その主旨である。

「初詣」は、神や仏への「お願ひ」であり、そのための「約束」の場である。

初詣に出かけ、神や仏に手を合わせ、

「どうか、〇〇高校に合格させてください。そのために精一杯の努力をします。勉強の時間も増やします。テレビも観ません。ゲームもしません。」

とお願ひと約束をする。願ひ事をする以上はそれなりの約束が交わされるのは当然だ。また、約束を破れば願ひ事を聞き入れてもらえないのも当然だ。これは人間社会であろうが、神や仏の世界であろうが同じだ。

年が明けたら初詣に出かけ、願ひ事をしよう。神や仏に約束をしよう。そして、神や仏と交わした約束を果たすために必要なあらゆる努力をしよう。

そういう人に神や仏は救いの手を差し伸べる。

先日、一枚の寒中見舞いのはがきが届いた。M先生の娘さんからである。余白にM先生が「鬼籍」に入られたことが手書きで記されていた。忘れていた30年以上も前の学年集会の記憶が甦った。「初詣」の話の次の時代に伝える役を託されたものと思っている。

彼岸になったら、責任を果たせたことをM先生の墓前で報告する予定である。

区長との対話集会を実施

昨年の12月11日(金)、田中区長さんをお迎えし、1学年の皆さんと対話集会を行いました。

対話集会は、これからの区のあり方や区の事業、区政の課題などについて、区長さんが区民と直接話し合う「区民と区長の対話集会」として月2回、中野区役所や区民活動センターなどで開催されています。

また、年に1回だけは中学校を会場にして中学生との対話集会を行っています。今年は十中が該当校となりました。

1学年では対話集会に向けて事前に中野区について学習を行いました。そして、当日は疑問に思っていること、区長さんをお願いしたいこと、提案したいことを代表生徒が話し、それに対して区長さんから回答をいただきました。1年生は大変有意義な時間を過ごすことができました。

対話集会が終了後、区長さんから「とても素直でいい生徒さんたちですね」とのお誉めの言葉をいただきました。自分のことがほめられたようで大変うれしかったです。



中野区中学生意見交流会

12月19日(土)、中野区中学生意見交流会(生徒会サミット)が行われました。

今年で9回目を数える意見交流会ですが、今年も十中が会場となりました。十中生徒会は会場校としての準備や全体会の司会も担当しました。

交流会では、どの中学校も素晴らしい発表を行っていました。十中生徒会も発表だけでなく、司会進行も手際よく行っていました。他校の先生のアンケートでは、「進行がスムーズだったのは第十中学校の生徒の司会が堂々として、段取りも良かったからだ」というお褒めのお言葉も数多くいただきました。意見交流会での経験を糧に、十中生徒会のこれからの成長と活躍に期待がもてます。

なお、十中生徒会は1月30日(土)に行われる第14回東京都中学校生徒会長サミットにも参加予定です。



クリスマスコンサート開催

12月23日(祝)、午後2時30分から本校体育館で吹奏楽部の「クリスマスコンサート」が開催されました。

前半は、「アンサンブルステージ」として木管6重奏、混合7重奏、金管5重奏、打楽器3重奏の4曲、後半は「ポップステージ」として「君の瞳に恋してる」「津軽海峡冬景色」「クリスマス・フェスティバル」の3曲が演奏されました。



この日は、冬至翌日の肌寒い日でしたが、吹奏楽部の熱気溢れる演奏に100名を超える多くの観衆から盛大な拍手をいただき、寒さを全く感じさせませんでした。最後はアンコールに応え、「そりすべり」を演奏しクリスマスコンサートを終わりました。

ご来校いただいた方からは、1時間半という時間の長さを感じさせない、素敵なコンサートでしたとのご感想をいただきました。

なお、十中吹奏学部は1月23日(土)及び24日(日)に府中の森芸術劇場で行われる東京都アンサンブルコンテストに出場します。きっといい演奏ができると思います。健闘を祈ります。

お兄さんお姉さんサンタがやってきた！

12月18日(金)、さくら館主催の「お兄さんお姉さんサンタがやってきた！」が行われました。本校からもボランティアサンタが参加しました。

以下、参加した生徒の感想です。



いつもはプレゼントをもらう側だったけれど、今回は渡す側で、子どもたちがどんな表情をするのか気になりました。

当日は、寒い中、サンタクロースの衣装を着て、プレゼントの入った袋を持ち、鈴などを鳴らしながら2kmほど歩きました。

道で出会った人に「メリークリスマス」と言うと、笑顔で返事してくれてとても気持ちが良かったです。

各家庭に訪問すると、小さな子どもたちが玄関から出てきてプレゼントを喜んでいました。一緒に写真を撮ったり、抱っこしたりして本当に楽しかったです。

後日、訪問を受けたご家庭から、サンタの訪問が大変うれしかったという内容のお礼の手紙と写真が送られてきました。一人一人にお渡ししました。いい記念になったと思います。

小中連携研究発表会のご案内

- 1、研究主題 「地域の子どもを育む小中連携教育の実践
～小学校から中学校への学びの連続性～
- 2、期 日 1月22日（金）13時30分～
- 3、内 容 公開授業（13：30～）、及び研究発表会（14：35～）
- 4、授業学級 算数（谷戸5年2組）、数学（十中1年B組）、道徳（塔山5年1組）
道徳（十中1年A組）、保健体育（十中2年A・C組男）

*保護者の皆様、地域の皆様もお越しをお待ちしております。

～作品展開催中～

1月15日（金）から22日（金）まで本校第一理科室・第二理科室において作品展が開催されています。また、各教室には書初めも展示されています。

今年は、小中合同作品展として連携小学校である塔山小学校と谷戸小学校が十中と同時期に作品展を開催しています。

15日（金）には、塔山小学校3年及び谷戸小学校5年の児童が十中の作品展を見学し、感想を寄せてくれました。

一方、十中は15日と16日に両小学校の作品展を見学しました。十中では授業中の見学の時間を設定できなかったため、放課後や休みの日に部活動単位で見学を行いました。

こうしたことが普通にできてしまう十中は、本当に素敵な中学校だと思います。

明日は、最終日。保護者の皆様もご来校ご見学くださいますよう、お知らせ申し上げます。



作品展を見学する塔山小児童

<表彰>

☆中学生人権作文コンテスト☆

- 村上 理子（東京都作文委員会賞）
- 万浪 耀（中野区人権擁護委員賞）

☆中野区子ども読書活動奨励事業☆

- 林 怜奈（優秀賞）
- 諸井 七海（優秀賞）

中野区立中学校読書感想文コンクール

- 林 怜奈（佳作）
- 諸井 七海（佳作）
- 村上 理子（佳作）
- 関島 志帆（佳作）

☆漢字検定☆

- 田中 七瀬（2級）
- 河合 克俊（準2級）
- 神丸 高志（3級）
- 柴草 美吹（4級）

☆全国書画展覧会☆

- 岩崎 優里（金賞）
- 安藤 萌子（銀賞）
- 柴田 真子（銀賞）
- 椿 裕介（銀賞）
- 藤山 直人（銀賞）
- 阿施 秀範（銀賞）
- 村上 理子（銀賞）
- 廣崎 泰紀（銀賞）
- 野地 史泰（銅賞）
- 山野 順平（銅賞）

保護者アンケートへのご協力に感謝申し上げます

「平成27年度学校教育に関する保護者アンケート」にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。アンケート回収率は98.2%と想定をはるかに超える高い結果でした。この高い回収率は、保護者の本校への期待の高さと捉えております。

回答の中で肯定的評価である「十分」と「まあ十分」の合計が80%以上の「高い評価」には29項目中25項目も該当しました。また、合計90%以上の「特に高い評価」には13項目が該当しました。本校の教育が保護者の皆さんからこれほど高く評価されていることに重い責任を感じていますが、十中教職員にとっては大きな自信と励みとなったことと思います。

今後は、保護者の皆様からいただいた評価結果を糧として、本校の教育活動がより一層充実・発展するよう、教職員が一体となって質の高い教育活動を実現して参りたいと思います。

どうか温かなご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1、肯定的評価が90%以上の項目について

今回のアンケートで肯定的評価が90%以上の「特に高い評価」をいただいた13項目は以下の通りです。

①お子様の充実した学校生活(94%)、②特色ある教育活動の推進(91%)、④基礎・基本を身に付けさせる指導(93%)、⑥人と関わる力、自分の考えを伝える力の育成(92%)、⑪社会のルールを守る態度の育成(95%)、⑫教育目標・経営方針の保護者・地域への周知(94%)、⑭保護者・地域と協力しての子どもの教育(92%)、⑮開かれた学校づくりの推進(93%)、⑰子どもの安全を守る取組(93%)、⑱熱意ある教育活動の実施(91%)、⑲教職員の外来者や電話の丁寧な対応(95%)、⑳学習や生活状況の知らせ(96%)、㉓生き方を考えさせる進路指導(91%)

2、肯定的評価が60%未満の項目について

一方、肯定的評価が60%未満の「低い評価」は以下の1項目です。

㉑学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明を行っている(53%)

これは全項目で最低の評価結果となりました。グラフからは右端の「答えられない、分からない」の結果が23%と他の項目に比べ著しく高い数値が見て取れます。このことは、学校の説明不足より他ありません。今後は、他校の取組例を参考にしながら特別支援教育について保護者の皆さんへの説明方法の改善を図る努力をして参ります。

3、ご意見・ご感想について

今回の保護者アンケートでは記述でご意見やご感想もいただきました。

「反抗期で難しい年頃ですが、学校に行くことだけは熱心です。勉強もスポーツも苦手で成果をあげようとしませんが、先生方や友達と過ごす時間は楽しいようです。息子と同じ目線に立って接して下さる〇〇先生に感謝です。生意気なことを言っていると思いますので、度が過ぎたら厳しく叱ってください。」(2年保護者)

「日ごろから大変お世話になっております。十中の生徒はとても落ち着いていると思います。それも、先生方が普段から子ども一人一人を良く見ていただいている結果ではないかと思っております。学校を訪問した際に子どもたちの積極的なあいさつもすばらしいです。」(3年保護者)

上述以外にも、日ごろの指導のお礼(9件)、十中の感想(2件)、部活動・生活指導についての提言(1件)、学校への感謝と要望(2件)、学習評価について(1件)、学校情報の提供について(1件)等、多くのご意見・感想をいただきました。いただいたご意見・ご感想は全教職員で共有し、今後の教育活動の質の向上に活用させていただきます。